



おおなっ子

十日町市立中条小学校だより
No.6 令和8年10月8日(木)
編集 校長室(近藤 博道)

心に火を灯す

「どうしたら速くなりますか？」親善陸上大会に向け、ハードル練習をしていた6年生に問いかけられました。傍らでは、100m走や走高跳、走幅跳の子どもたちも、友達と試行錯誤しながら自主練習をしています。9月初旬の昼休みのことでした。

親善陸上大会に向けた練習開始に当たり、5・6年担任と体育主任は、子どもたちに、中止の可能性あることを前提にしながらも、これが仲間とともに自分の力を高めるチャンスであることを熱をもって語りかけました。この思いを受けた子どもたちは、自分の記録を伸ばそうと、休み時間にも主体的に、全力で練習に取り組み始めたのでした。

マラソン大会には多く保護者・地域の方々はじめ、地域のスポーツクラブの指導者からも応援いただきました。ご来校の皆さまには、子どもたちの全力を尽くす真剣な表情を間近でご覧いただいたのではないかと思います。子どもたちが苦しさ負けず全力で取り組むために、それぞれの担任は、業間練習で子どもと一緒に走りながら励ましたり、タイムを意識させたり、またコース攻略法を考える学習シートを工夫したりするなどして、気持ちを高め主体的に取り組むための様々な手立てを講じてきました。

中学校の教師としてバスケットボール全国優勝を成し遂げ、現在は、指導する開志国際高校をインターハイ優勝にまで導いた富樫英樹監督の講演を聴く機会がありました。富樫監督は、高い目標を掲げ、それを達成するために選手が主体的に考える環境をつくることで、チームを高みに押し上げたことを知りました。陸上大会、マラソン大会、2つの大会に子どもたちを立ち向かわせる職員の姿は、富樫監督の言葉と重なるものがありました。

陸上大会中止の知らせをどのように子どもたちに伝えるか、私も担任も体育主任も悩みました。そしてそれぞれの立場でそれぞれの思いを子どもたちに伝えました。5・6年生は皆神妙な面持ちで聴き、中には涙を流している子もいました。目標を失ったのは残念なことです、それだけの思いをもてるまで真剣に取り組んだことが成果であり、その過程は、当校のグランドデザイン「自ら学ぶ子供」を具現する姿そのものでした。

今後実施する校内記録会に向けて気持ちを切り替え、今も休み時間に自主練習をしている子どもたちがいます。子どもたちのひたむきな表情に心を動かされ、また、心を耕し、共に考え寄り添い、子どもの心に火を灯す職員の姿に学んだ9月でした。

つらさの先によさがある

「みんなの応援のおかげで練習よりも速く走ることができた」

「本番に向けてたくさん練習したかいがあってうれしかった」

「応援してくれた方や運営の先生方に感謝を伝えたい」

「自分の実力を出して、本気で走り切れてよかった」

「飛渡第一小の友だちと走れてうれしかった」

「つらいことがあるけど、それを乗り越えるといいことがある」

マラソン大会後の5年生の感想です。どの言葉も充実感があふれています。

大会に向けて、学校やお家の周りで自主練習をする子どもたちの姿を、今年はたくさん見ました。全力を尽くしたからこそそのすばらしい大会、すばらしい言葉でした。子どもたちは大会前より心も体も強くなりました。たくさんのご声援のおかげです。ありがとうございました。



10月・11月の主な学校行事

10月 1日(木) マラソン大会
クラブ
2日(金) マラソン大会予備日
5日(月) 就学時検診
3限給食下校
6日(火) 小中一貫あいさつ運動
～7日(水)
7日(水) 諸費口座振替日
8日(木) 委員会
9日(金) 全校集会
12日(月) スポーツの日
13日(火) 5限授業
15日(木) 委員会
16日(金) おおな学習発表会(午前)
18日(日) 家読の日
22日(木) クラブ
29日(木) クラブ
30日(金) 音楽交歓会(4年)

11月 2日(月) あのね週間(～9日)
3日(火) 文化の日
5日(木) 委員会
6日(金) 全校集会
10日(火) 5限授業
3限全校音楽
15日(日) 家読の日
PTA 環境整備作業
市 P 連はぐくみのまち
づくりフォーラム
17日(火) 授業参観(下学年)
19日(木) クラブ
家庭学習強調週間
(～25日)
23日(月) 勤労感謝の日
24日(火) 全校漢字テスト
25日(水) 小中交流会
26日(木) 委員会
27日(金) 児童集会

